

# ふるさと米子 探検隊

第1号 民話マップの巻 2004年11月25日



## 「民話」ってどんな話？

編／発行 米子市立図書館

TEL0859-22-2612 FAX0859-22-2637

民話マップの探検に出かける前に「民話」とはどんな話かをはっきり知っておきましょう。

民話と似た言葉に「昔話」「伝説」「世間話」があります。昔話は「昔、あるところに…」と語られるつくり話。伝説は、その昔、実在の場所で起こったという話。世間話は、例えば「トイレの花子さん」のような現代のうわさ話です。この昔話・伝説・世間話をひっくるめたものが民話です。これを式で書けば

民話 = 昔話 + 伝説 + 世間話 + 神話 となります。

民話マップは、地図の中に民話所在地を示しますので、民話の中の伝説や世間話が中心になります。昔話は「昔あるところに…」で始まりますから場所が分かりません。ところが例えば「桃太郎」も岡山で聞くと、桃太郎の居たところ、鬼を退治したところが語られます。こんな昔話を「伝説化した昔話」といいます。米子にも、伝説になった昔話もありますので、マップの中に入れてあります。

さあ、それではいよいよ探検に出発しましょう！

## 探検隊の参考資料

図書館には、みんなの探検を助けてくれるたくさんの資料があります。

- ・「新修 米子市史 第5巻 (民俗編)」米子市史編さん協議会／編 米子市 2000 Y224/Y19
- ・「米子の民話散歩」(広報よなご 複写版) 米子市 川上昶彦／著 Y38/K7-3
- ・「とんとん昔があっただけな」西尾繁・川上昶彦／著 たたら書房 1978 0938/N2-2
- ・「鳥取の民話」稲田和子／編 未来社 1976 0938/16
- ・「鳥取ふる里むかし話」上・下巻 岩田廉太郎／著 新日本海新聞社 1994 Y38/I14
- ・「こどものための 鳥取の伝説」野津龍／編 鳥取大学教育学部国文第二研究室 1979 0938/N4-3
- ・「鳥取の伝説」鳥取県小学校国語教育研究会／編 日本標準 1981 Y38/T13-2
- ・「米子城にまつわる民話」山陰歴史館ブックレット2 山陰歴史館 1994 Y224/S9/2
- ・「西伯耆伝説民話集」渡辺光正／編 1982 0938/W2-2

(資料名の後の数字と記号は「請求記号」です(ラベルの番号)。資料の配列場所を示しています。図書館にはこの他にもたくさんの資料があります。)

# 民話マップ I

民話の番号は「広報よなご」最終ページ連載の「米子の民話散歩」の番号と同じです（米子市ホームページ掲載中）。

## 大篠津小

- 輪くぐりさん  
(大篠津・諏訪神社) ……50
- 心を映す水  
(大篠津・和田御崎神社) ……60

## 和田小

- 横綱を倒した和田の力士 ……15
- 海亀の碑 (和田) ……69

## 崎津小

- 芋塚さんと名月  
(岐津・和田・富益・夜見) ……18

## 弓ヶ浜小

- 夜見の地藏さん ……64

## 彦名小

- 粟嶋の八百べくさん ……5
- 一畑薬師さん  
(彦名・祥雲庵) ……66

## 加茂小

- みやげのツツジ  
(三柳・市庵観音堂) ……37

## 河崎小

- 河崎のあごなし地藏 ……31
- 塔婆堂の由来 (河崎四軒屋) ……53
- 年神飾り (河崎) ……81

## 住吉小

- 旗ヶ崎の天狗松 ……30
- 社日さん (旗ヶ崎・尚徳・青木神社にも) ……59
- 中海凍る ……46

## 福米西小

- 咳ばあさんの碑  
(西福原上谷) ……62

## 福米東小

- 米原太鼓 ……4
- 前地のナナフロニョウバ ……7
- 米子の寺子屋  
(東福原・高橋塾/尚徳・修徳舎) ……60

## 福生西小

- タコと皆生海岸 ……12

## 福生東小

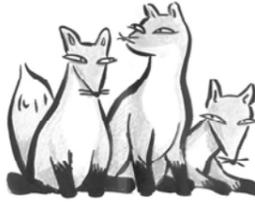
- 見よ飛行機の高く飛べるを  
(皆生海岸) ……64

## 義方小

- 中海に落としたキセル (天神町) ……26
- 師走の大工さん (天神町) ……44
- 鹿島さん家のねずみ (立町) ……47
- 糺坂の怪 (立町・糺神社) ……54
- もう一人の八百比丘尼  
(灘町・吉祥院) ……65
- 伝・兎島高徳の墓  
(岩倉町・涼善寺) ……71
- 木から落ちたたぬき  
(岩倉町・本教寺) ……78
- きつねの遊女  
(立町・糺神社) ……79
- そろばんの日 (上後藤) ……88
- 宇気・河口神社の七夕祭り  
(内町) ……87

## 啓成小

- 蟬丸さんの百人一首  
(博労町・蟬丸神社) ……10
- あわて者の大山参り (糺町) ……25
- 大きな大根 (勝田町) ……67



- 天狗の相撲取り  
(博労町・勝田神社) ……72
- 刑場跡 (住之江公園) ……69
- 根上がり運理松 (博労町) ……91

## 就将小

- 東町の榎神社・剣先さん ……13
- 感應寺の鐘 (祇園町) ……16
- 感應寺橋と三角十右衛門  
(祇園町) ……73
- 弁慶石 (湊山公園) ……27
- 神様の贈物 (西町) ……32
- 龍の秘密  
(愛宕町・総泉寺) ……33
- 総泉寺のねずみ (愛宕町) ……34
- 米子城と柳の木 ……38
- 河童と赤子岩 (陰田) ……39
- やな井の水  
(愛宕町・桂住寺) ……40
- 神さんの灯  
(祇園町・深浦神社) ……43
- 力持ちの嫁さん  
(西町・村河与一右衛門の屋敷跡) ……41
- 海坊主の話 (中海) ……52
- 毘沙門さんの福もらい  
(陰田) ……57
- 米子の中江藤樹 (加茂町) ……58
- 「飯山」の地名伝説 ……61
- 飯山の蛇話 ……62
- 米子城の皿屋敷 ……76
- 賀茂神社の宮爺さん (加茂町) ……65

## 明道小

- 安産の寺 穴太寺  
(道笑町/上安曇) ……55
- 瑜伽堂 (紺屋町) ……77

## 車尾小

- 戸上山の藤内ぎつねと尻焼川  
(観音寺) ……11
- みそなめ地藏さん  
(車尾・梅翁寺) ……70

## 成実小

- 美吉の猿土手 ……2
- 宗像淵の鯉 ……3
- 新山の小豆とき (成実) ……6
- 奥谷・荒神林の怪物 ……19
- 天から落ちた石  
(橋本・阿陀萱神社) ……36
- お船塚  
(宗像・宗形神社) ……63
- 乙姫様の贈り物  
(法勝寺川下流) ……68

## 尚徳小 (日新小)

- 榎大谷の鍋吉さん (尚徳) ……17
- 大袋と大国主命 ……20
- セントロ・マントロ (尚徳) ……75
- 門松を立てない村 (上安曇) ……93
- キサイさん (別所) ……90

## 五千石小

- 安養寺の歯形栗 (福市) ……42
- 藤内ぎつねと要玄寺の小僧さん  
(八幡) ……92

## 箕蚊屋小

- 上新印の金の鶏石 (円福寺) ……9
- 二本木の朝日さす長者屋敷 ……21
- 吉岡・観音堂の石仏さん ……23
- 尚足院の和尚さんと藤内ぎつね  
(蚊屋) ……24
- 一里松の妖怪 (豊田) ……35

## 伯仙小

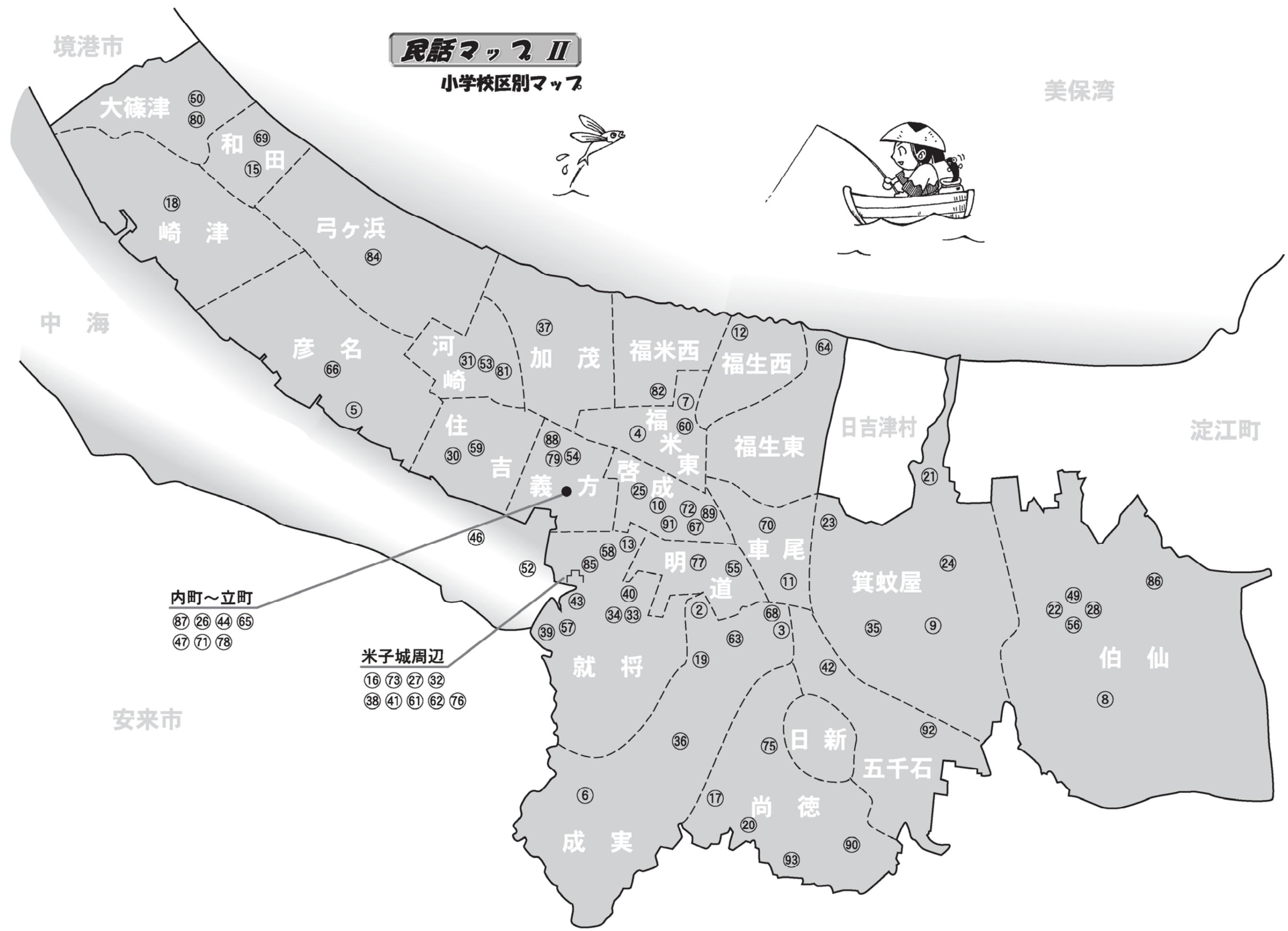
- 日下の赤穂浪士の墓 (瑞仙寺) ……8
- 森の三笠ぎつね (尾高) ……22
- 尾高城の山中鹿之助 ……28
- 唐王御前さん  
(大高・大篠津・諏訪神社にも) ……49
- 壱の神祭り (岡成・尾高) ……56
- 岡成の大堤 ……66



ペープサート  
「藤内ぎつね」より  
製作/米子市立図書館  
絵/寺西 竜也さん

# 民話マップ II

## 小学校区別マップ



- 内町～立町
- 87 26 44 65
  - 47 71 78

- 米子城周辺
- 16 73 27 32
  - 38 41 61 62 76

安来市

境港市

美保湾

中海

淀江町

## 民話を分類してみよう!

民話をいくつかの種類に分けて比べてみると、いろいろな事がよくわかります。鳥取や松江、まともっと遠い地方のお話にそっくりだったりします。みんなも分類に挑戦してみよう!

### 歴史的伝承

- ⑭ 芋塚さんと名月, ⑰ 伝・児島高德の墓, ⑮ お船塚, ⑯ 大袋と大国主命  
 ⑫ 安養寺の歯形栗, ⑲ 尾高城の山中鹿之助, ⑱ 上新印の金の鶏石

#### <⑤ 粟嶋の八百べく(比丘尼)さん>

昔、粟嶋で龍神講がありました。当番は仲間にごちそうを出すのがきまりでした。ある年の当番が、おいしくて食べれば不老長寿になると言われる「人魚の肉」を出しました。みんなは気味悪がって食べませんでした。酒によったある人が、家に肉を持ち帰り寝てしまいました。その家の娘が土産だと思い、その肉を食べたところ、少しも歳をとらない体になってしまいました。寂しくなったこの娘さんは、粟嶋に渡り、食べ物をとらずに死んでしまいました。800歳だったそうです。(要約)

### 信仰伝承

- ⑬ 神さんの灯(祇園町・深浦神社), ⑯ 一畑薬師さん(彦名・祥雲菴)  
 ⑰ みそなめ地藏さん(車尾・梅翁寺), ⑱ 蟬丸さんの百人一首(博労町・蟬丸神社)

#### <⑬ 東町の榎神社・剣先さん>

江戸時代のこと。榎神社の近くの侍屋敷の奉公人の若者が、主人に無断で伊勢参りに出かけました。短気な主人はひどく怒り、若者が帰るやいなや、刀で切り殺し神社の横の竹やぶに埋めてしまいました。その次ぎの日、昨日死んだはずの当の若者が帰って来て、主人にあやまりました。びっくり仰天した主人は、若者の死体を埋めたはずの場所を掘り返しました。そこから、斜め一文字に切られた伊勢神宮のお札が出てきました。感心した主人は、その場所に小さな祠を建ててお札をお祭しました。(要約)

### 怪異伝承

- ⑥ 新山の小豆とぎ, ⑳ 旗ヶ崎の天狗松, ㉑ 一里松の妖怪(豊田)  
 ㉒ 海坊主の話(中海), ㉓ 飯山の蛇話, ㉔ 奥谷・荒神林の怪物

#### <⑦ 前地のナナフロニョウバ>

東福原の前地の薬師堂横に、大人の男が三人手を広げてやっと抱えられる古い松の大木がありました。この松の木のてっぺんには、夕方、ナナフロニョウバと呼ばれる(両手を広げた長さの七倍という意味)背のとても高い女がちょこんと座るのです。暗くなって松の木の下を通る人に、薄気味悪い声で笑いかけたり、肩にヒョイと手をかけてからかたりしました。夕方になっても遊んでいる子どもたちは、「ナナフロニョウバにかまわれるぞ」といってしかられたものです。(要約)

### 説明伝承

- ㉘ 米子城と柳の木, ㉙ 「飯山」の地名伝説, ㉚ やな井の水

#### <㉙ 弁慶岩>

京の五条の橋で牛若丸に負けた弁慶は松江で生まれた、という伝承があります。松江の野原にある弁慶島で育ったという話。平田の鱒淵寺などでも修行したと言われます。米子では尾高の大神山神社の社地、福万原・二宮屋敷跡にある弁慶の腰掛岩。弁慶が大山まで往復した時、腰掛けて休んだ岩だそうです。もう一つ、湊山公園の清洞寺跡の清洞寺岩。何とこの岩は、弁慶が出雲から投げたものという言い伝えです。(要約)

### 登場人物で分けてみよう!

#### きつね

- ① 戸上山の藤内ぎつねと尻焼川  
 ② 藤内ぎつねと要玄寺の小僧さん  
 ④ 両足院の和尚さんと藤内ぎつね  
 ⑤ 森の三笠ぎつね  
 ⑦ きつねの遊女



#### 妖怪・幽霊

- ④ 糺坂の怪  
 ⑤ 海坊主の話  
 ⑧ 奥谷・荒神林の怪物  
 ⑥ 新山の小豆とぎ

#### ねずみ

- ④ 鹿島さん家のネズミ  
 ④ 総泉寺のねずみ

#### へび

- ⑥ 飯山の蛇話  
 ④ 唐王御前さん



#### 人間

- ⑥ 中海に落としたキセル, ④ 師走の大工さん  
 ⑤ あわて者の大山参り, ④ 力持ちの嫁さん  
 ⑦ 榎大谷の鍋吉さん



#### 神様・仏様

- ⑤ 社日さん  
 ⑦ 毘沙門さんの福もらい  
 ⑤ 安産の寺 穴太寺



#### 天狗

- ⑩ 旗ヶ崎の天狗松  
 ⑦ 天狗の相撲取り



(このページのイラストは難波康子さん)

## お話を聞かせて!

米子には、民話マップに印した以外にも、まだ埋もれている民話がたくさんあります。おじいさんやおばあさんはもっとたくさん知っておられます。埋もれている民話を掘り出して(聞いて)、民話マップをより良いものにしましょう。

エッ? お話の聞き方が分からない? 話を聞くときには、聞き方の礼儀作法(エチケット)があります。このページには、みなさんがお話を聞きに行く時のエチケットをまとめてみました。

### ① 何について話を聞くか

はっきりしたテーマを持って話を聞くことが大切です。この号で特集したテーマは民話ですが、他にも「昔のわらべ歌」「昔の遊び」「村の歴史」など、お年よりから聞いておきたいことはいろいろあります。

### ② テーマについてのお話のできる人(話者)をさがす

テーマが決まったら、そのテーマについて精しい話者を捜さなければなりません。まずは先生や友だちに聞いてみましょう。「うちのおじいちゃんがよく知っている」ということもあります。家族にも聞いてみましょう。いよいよ見つからなかったら、公民館で聞いてみましょう。公民館の人は、地区の人のことをよく知っておられます。「そんな話を聞くのなら〇〇のおばあちゃんがいい」などと、親切に教えてもらえます。頼りになりますよ。

### ③ 話者との事前打ち合わせ

話者が決まったら、その人に会って、テーマ〇〇について話を聞かせてもらいたいことをお願いします。承知してもらえたら、話を聞く日、時間、聞く側の人数、を決めます。

### ④ お話を聞きに出かける

出かける時に準備するもの ・テープレコーダー(1台) ・メモ用紙(全員) ・必要があればカメラ、テープレコーダーやカメラの調子、電池の具合を点検しておきましょう。約束の時間より、5分くらい早く着くように出かけましょう。お話を聞く前に、テープレコーダーやカメラを使わせてもらう許可を受けておきましょう。

### ⑤ お話を聞く

お話は話者の眼を見ながら、くつろいだ気分で熱心に聞きましょう。聞きながら適当なところで相づちを打つことも忘れずに。昔話には、「ホーン」とか「フーン」と言って相づちを打ちます。疑問点は、メモを取り、話が終わってから話者に聞きましょう。昔話の場合は、語り初めの言葉、語り終わりの言葉に注意して聞いておきましょう。話者の語り口、方言、ジェスチャー、動作などもよく聞き、見ておきましょう。

### ⑥ お話が終わって

話が終わると、話者の氏名、生年月日、出生地、どんな職業につかれたか、今語られた話は何歳頃、だれから聞かれたか、というようなことを、忘れずに聞いておきましょう(初めに聞いても良いでしょう)。テープは録音が終わるとすぐケースに納め、ケースには録音年月日・話者名・話の題名などを書き入れておきましょう。帰宅する時には、私たちのために貴重な時間を使ってくださった話者に、心からの感謝の気持ちを表し、お礼を言いましょう。また後日、ハガキで礼状を出しておきましょう。

### ⑦ テープ起こし

お話を聞いて帰ってから、録音したお話を文字になおします。これを「テープ起こし」といいます。このとき、話者の語りぐせ、方言など、一字一句正確に文字化することが大切です。根気のいる仕事ですが、がんばってやり遂げましょう。

エッ? テープ起こし完了? ご苦労さん。

これでオシマイ

